

令和元年台風19号で被災したまち 栃木県佐野市・茨城県水戸市



① 佐野市



④ 水戸市



② 水戸市



③ 佐野市



水戸市 ⑥



⑤ 佐野市

- ① 損壊した橋（秋山川）
- ② 市民用物資
- ③ ボランティアセンターの様子
- ④ 浸水した住宅（泥水の跡が残っている）
- ⑤ 災害対策本部の様子
- ⑥ 道路脇に積まれた災害ごみ

昨年、被災地支援に行った本市職員が 支援活動の中で感じたことと市民の皆さんに伝えたいこと



**「まさか」が現実にも！
水害ハザードマップ
を確認してください**

危機管理課 主任
まがた たつお
眞方 哲雄

佐野市では、台風19号で秋山川が決壊し、大きな被害が発生しました。支援のため、被災地へ行きました。市民の皆さんの声を聞く機会があったときに、「まさか、決壊するとは思わなかった」とおっしゃっていました。

普段、秋山川の水位は低いとのことでしたが、佐野市のハザードマップを確認すると、想定されていた「浸水エリア」が実際に浸水していました。

この教訓から、今一度、**彦根市内のハザードマップを確認いただきますようお願いいたします。**

**「大丈夫」はNG！
早く逃げるのが
肝心です**

危機管理課 主事
たかまさ
安田 隆真

水戸市へ支援に行った時点では、すでに水は引いていたものの、被害の爪痕は大きく、泥水の跡が家や車にくっきりと残っていました。浸水の影響で、周辺は酸っぱい臭いが充満しており、住宅街では住民の皆さんが玄関を開放して、家の消毒作業を行っていました。道路脇には、浸水で使えなくなった冷蔵庫、畳などのごみが山積みになっているなど、日常からは考えられない光景が広がっていました。

予想外のことは起こります。「**たぶん大丈夫だろう**」と思わずに、**早めに避難しましょう。**



備蓄品・非常持出品は準備できていますか？



水

1人分：1日3リットル

アルファ化米

長期保存ができるお米です。お湯や水を入れるだけで作れます。

薬

持病のある人は、専用の薬の備蓄が大事。かかりつけの病院の診察券や病名、処方薬のメモも保管しておきましょう。

長期保存のレトルト食品

いろいろな種類の食品があると、被災時でも、気持ちが元氣になります。

「ローリングストック法」を実践してみよう

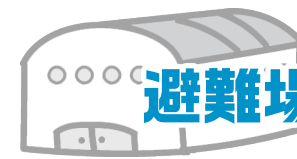
- ① 普段から缶詰やレトルト食品を多めに**備蓄（ストック）**しておく。
- ② 古いものから**食べる**。
- ③ 消費した分だけ**買い足す**ことで、常に一定量を保つ。

★①～③を繰り返す

被災した時こそ心が安らぐものが必要

災害が起きたときは、恐怖と不安で、心も疲れやすくなります。少しでも緩和するためにも、自分が癒されるものや気持ちが楽になるものなども、一緒に用意しておきましょう。

その他、準備しておくものは、市民防災マニュアルの73ページ「備えと対策編」をご覧ください（彦根市ホームページにも掲載しています）



避難場所等での新型コロナウイルス感染症対策

避難する皆さんへのお知らせとお願い

災 害時の避難は、「三つの密」（密閉・密集・密接）空間の中での集団生活などにより、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる危険性があります。

市 では、複数の避難場所等の開設時に、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、備蓄品を配備するなどの対策を講じますが、できるだけ感染リスクを軽減するため、次のとおり災害時に備え、皆さん自身で準備しておきましょう。

避難場所等へ避難する場合の注意点

避 難場所などへ行く前には、体温測定をお願いします。

発熱や風邪症状がある場合は、帰国者・接触者相談センターへ相談をしていただく場合があります。

万が一、避難場所等で、発熱や風邪症状が出た場合は、速やかに市職員へ申し、指示を受けてください。

① 親戚や友人の家などへの避難の検討

避難時には、避難場所等が過密状態になることを防ぐため、できる限り、親戚や友人の家へ避難することも考えておきましょう。

② 手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底

避難者や避難所運営関係者は、頻りに手洗いをを行い、咳エチケットなどの基本的な感染対策を徹底しましょう。

③ じゅうぶんな換気の実施、スペースの確保など

避難場所等では、じゅうぶんな換気に努め、避難者にとって余裕のあるスペースを確保しましょう。